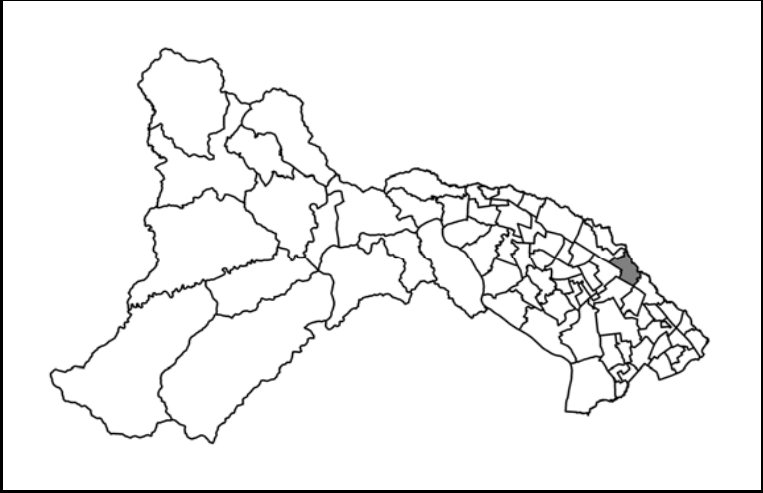


○地区を構成する町丁

【中央区】東淵野辺1丁目～5丁目、淵野辺5丁目、淵野辺本町4丁目・5丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野北(自治会法人淵野辺, 自治会法人ニュー相模, 中渚, 自治会法人東嶽之内, 嶽之内)

○地区概況

北東端に沿って境川が流れている。境川沿いは一段低い段丘面となっており、南部には段丘崖が見られる。南西部を国道16号が通っている。また、J R横浜線が地区内を通っている。西部に広域避難場所である青山学院・カルピス・国学院大学がある。住宅地が多い。

○建物数・人口

建物	区分			建物(棟数) 0 500 1,000 1,500 2,000
	木造(昭和55年以前)		625 棟	
	木造(昭和56年以降)		1,757 棟	
	非木造(昭和55年以前)		192 棟	
	非木造(昭和56年以降)		508 棟	
合計			3,081 棟	人口(人) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
人口	区分			
	0～4歳		709 人	
	5～64歳		10,580 人	
	65歳以上		2,414 人	
合計			13,703 人	

○所見

- ・段丘崖に急傾斜である部分がある。
- ・境川沿いの段丘面から避難する経路によっては、急な坂道がある。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	中淵, 嶽之内
病院等	
主な災害時要援護者施設	たけのうち保育園・東淵野辺デイサービスセンター, レストヴィラ古淵, (仮称) 大野北誠心園, 相模原ケアハートガーデン グループホームあじさい, 恵光園
幼稚園、保育園	たけのうち幼稚園, たけのうち保育園
学校、大学	淵野辺東小学校, 青山学院大学
避難所 ※洪水時避難所兼用	※淵野辺東小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	青山学院・カルピス・国学院大学
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応 臨時ヘリポート	※青山学院・カルピス・国学院大学, 淵野辺東小学校

○地震被害予測結果

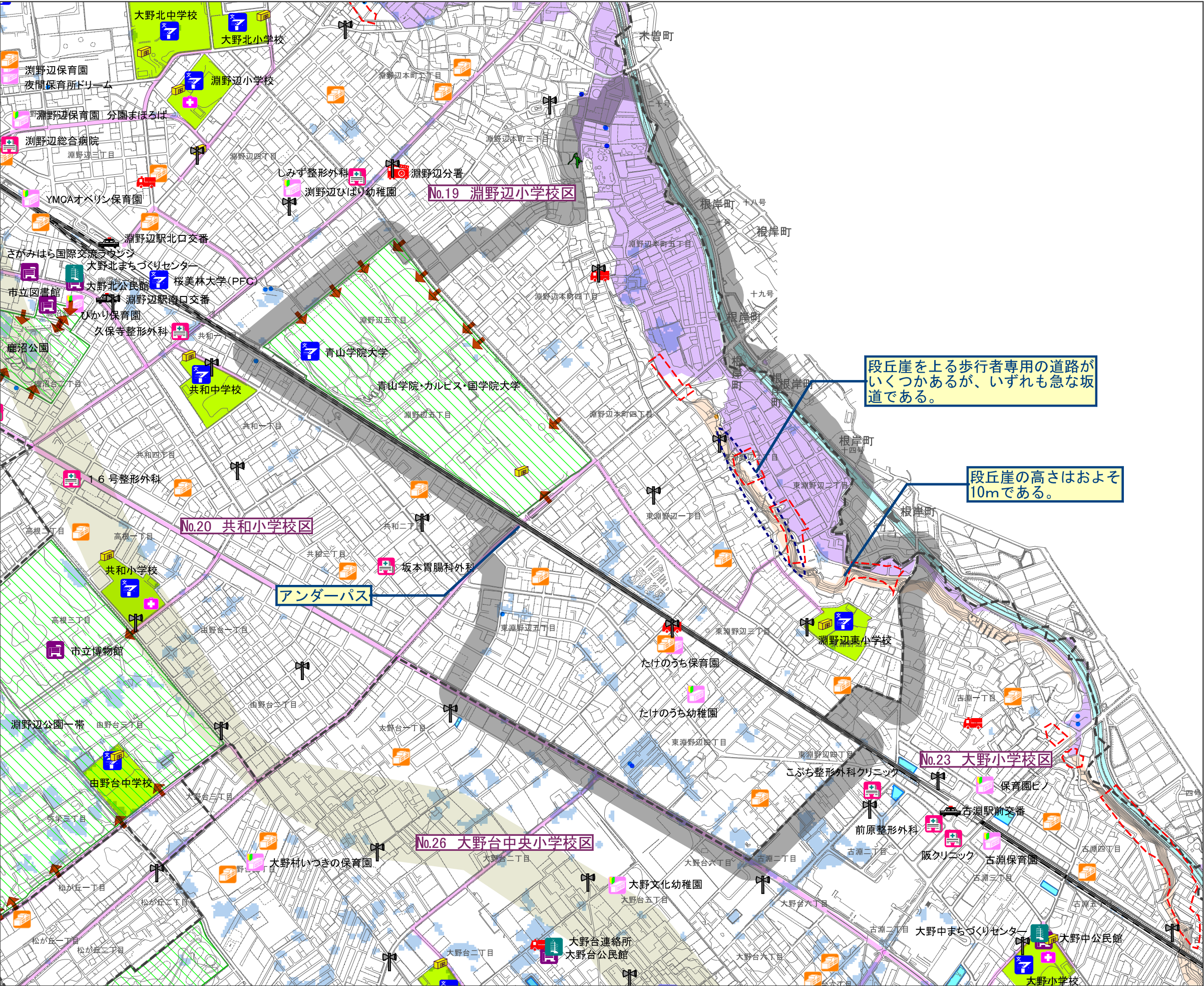
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	125 棟	4.1 %	19 棟	0.6 %	15 棟	0.5 %
建物焼失	20 棟	0.6 %	1 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	8 人	0.1 %	1 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	50 人	0.4 %	8 人	0.1 %	7 人	0.1 %
重傷者	10 人	0.1 %	2 人	0.0 %	1 人	0.0 %
軽傷者	64 人	0.5 %	24 人	0.2 %	22 人	0.2 %
避難所避難者(当日)	406 人	3.0 %	88 人	0.6 %	76 人	0.6 %
避難所避難者(1週間後)	1,174 人	8.6 %	594 人	4.3 %	555 人	4.1 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床上浸水1戸
平成11年 8月14日 床下浸水1戸、床上浸水1戸、土砂災害1箇所
平成14年 9月 9日 床下浸水1戸



凡 例	
防災関連施設等	
	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類	
	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴	
	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等	
	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入
しましょう(例: 浸水しやすいところ、
防火水槽の位置など)